

事業の概況

代表取締役社長 那須和史

当期は、アベノミクス効果で、我が社を取り巻く社会情勢は、以前に比べると明るさが感じられるようになってきたと思います。

しかしながら、我が社の情勢に明るさが感じられるかと言えば、なかなかその実感が得られない一年となりました。

このような状況下での当期の業績は、各事業所の頑張りにより、利益計画に対して、増収増益の決算となりました。

第69期も原子力発電所の再稼働問題等の不透明事案を抱えてのスタートとなりましたが、ごみ焼却設備の延命化工事等の大型改造工事を複数件受注して工事を施工中であり、今後も関係者の皆様に安心して頂ける結果を残せるように最大の努力を行う所存であります。

今後とも、ますますのご理解とご支援を賜ります様、お願い申し上げます。

以上